

日本獣医生命科学大学  
付属ワイルドライフ・ミュージアム

# 年報

第1号

2015(平成27)年度～2017(平成29)年度

日本獣医生命科学大学  
付属ワイルドライフ・ミュージアム

日本獣医生命科学大学  
附属ワイルドライフ・ミュージアム  
年報 第1号

---



日本獣医生命科学大学 本館(1号棟)

## 本館(1号棟)と博物館

---

現在、博物館として活用されている本館(1号棟)の歴史は、1909(明治42)年まで遡ることができます。この年の6月、麻布市兵衛町2丁目(現港区六本木3丁目)にて、麻布区役所の庁舎が竣工しました。区役所庁舎は1923(大正12)年の関東大震災を乗り越え、約20年間活用されましたが、1935(昭和10)年に新たに建てられた庁舎での事務が開始され、その役目を終えました。

このころ、現在の校地である武蔵野市にて、本学の前身校である日本高等獣医学校の校舎の建築が始まります。この時、使われていなかった麻布区役所旧庁舎を、学校校舎として活用するために移築したものが現在の本館です。

武蔵野市への移築後は本館(1号棟)と呼ばれ、講義室・事務室・学長室など様々な形で使われてきましたが、2015(平成27)年からは2階に博物館の展示室が設置されています。

## ご挨拶

日本獣医生命科学大学博物館「附属ワイルドライフ・ミュージアム」設立の経緯は、2005(平成 17)年4月獣医保健看護学科設置後、間もなく学芸員課程が設けられ、2009(平成 21)年、博物館法の改正により、実習時間が増加となり、学内においては実習専用の施設で実習することが望ましいとの見解がでました。それを受けて、準備が進められ、2015(平成 27)年4月に開館を迎えました。その準備には、多くのご苦勞があったと推察され、また、開館して3年間の充実ぶりには、目を見張るものがあります。課程教育とともに博物館としての機能充実には、多くの難題を乗り越えてこられたことと思います。今回、博物館設立の経緯や事業実績を総括し、年報第1号を発刊されますことに敬意を表します。

大学博物館の使命は、大学と一般社会をつなぐ窓口として、大学での教育・研究の成果を広く社会に発信することにあります。多くの方のご尽力をいただきながら、常設展示、全学的な共同利用機関として、本学 137 年の資料から、本学の歴史の検証、数々の展示、また、折々の企画展が開催され、地域イベントへの参加など、3年間で 5,000 名に迫る来館者数になっております。本学と近隣地域を繋ぐ情報の発信拠点としても期待し、益々の充実を祈念しております。

2018(平成 30)年 3 月

日本獣医生命科学大学  
学長 阿久澤 良造

## 日本獣医生命科学大学附属ワイルドライフ・ミュージアム 年報第 1 号の発刊にあたって

2015(平成 27)年 4 月に附属博物館「ワイルドライフ・ミュージアム」が開館してからすでに丸 3 年が過ぎてしまいました。その間、館の整備に追われて余裕が持てなかったことだけでなく、当然のことながら館として蓄積した実績もほとんど持ち合わせなかったため、年度ごとの年報を発刊できずに今日まで至ってしまいました。しかし、この 3 年間における学内外の多くの方々のご協力のおかげで、多少なりとも博物館としての体裁や最低限の設備も整い、オリジナリティのある展示も作られてきたように思っております。そうした館の整備と同時進行で、大学の行事や地域社会との交流事業も回数を重ね、徐々に館外における実績も出始めて参りました。設立当初から館に関わってきた私自身もこの 3 月で定年を迎えることとなり、館の設立からの歴史的な事項を含めてこの段階でいったん整理しておく必要性を常々感じておりました。

このような背景からこの創刊号では博物館設立の経緯から設立後の 3 年間の事業について資料的な意味合いを込めてまとめることとした次第です。

今後も附属ワイルドライフ・ミュージアムが発展し続け、大学と地域に大きく貢献することを切に願っております。

2018(平成 30)年 3 月

附属ワイルドライフ・ミュージアム  
館長 梶ヶ谷 博

# 目次

<b>巻頭言</b> . . . . .	<b>1</b>
「ご挨拶」 . . . . .	1
「日本獣医生命科学大学附属ワイルドライフ・ミュージアム年報第1号の発刊にあたって」 . . . . .	2
<b>I. 展示活動</b> . . . . .	<b>4</b>
1. 自然系展示室 . . . . .	4
2. 歴史系展示室 . . . . .	8
3. 廊下ミニ展示 . . . . .	8
<b>II. 教育普及活動</b> . . . . .	<b>10</b>
1. 団体見学の受け入れ . . . . .	10
2. ワークショップの開催 . . . . .	10
<b>III. 学芸員課程との関わり</b> . . . . .	<b>12</b>
<b>IV. イベント時の開館記録</b> . . . . .	<b>13</b>
1. 2015(平成27)年度 . . . . .	13
2. 2016(平成28)年度 . . . . .	13
3. 2017(平成29)年度 . . . . .	14
<b>V. 資料</b> . . . . .	<b>15</b>
1. 入館記録 . . . . .	15
2. 年表：開館までの経緯とその後の活動 . . . . .	18

(扉写真：日本獣医生命科学大学 本館(1号棟))

# I. 展示活動

## 1. 自然系展示室

### (1) 第 1 期常設展

#### 【展示期間】

2015(平成 27)年 4 月 21 日から 2016(平成 28)年 10 月 27 日

#### 【展示内容】

##### ・ 展示構成

里山に生息する野生動物の剥製や骨格標本、身近な野鳥に関する資料などを展示室に配置した。なお、2016(平成 28)年度企画展開催の都合上、展示期間中に一部資料の配置替えを行った。

##### ・ 展示風景



里山の動物の剥製



並べられた骨格標本

#### 【関連イベント】

なし

### (2) 第 2 期常設展

#### 【展示期間】

2016(平成 28)年 11 月 4 日から現在まで継続中

#### 【展示内容】

##### ・ 展示構成

##### » パネルゾーン

野生動物に関する事柄をまとめた 5 枚のパネルを展示し、野生動物に関する様々な問題・動物園とのかかわり・生息地管理と栄養生態の関係について解説した。なお、2017(平成 29)年 7 月 9 日以降は、企画展の都合上パネルを撤去した。

» 身近な鳥の剥製

身近な環境に生息する野鳥の剥製や羽の標本を展示し、その特徴を紹介した。なお、2017(平成29)年度企画展開催の都合上、2017(平成29)年7月9日から一部の剥製の配置を変更した。

» 骨からわかる動物のこと

里山に生息する野生動物の頭蓋骨を展示した。展示棚を2段に分け、上段では成長に応じた形態の変化を比較できるように資料を並べた。下段では動物種ごとの違いが比較できるように資料を並べた。

・ 展示風景



常設展 身近な鳥の剥製



展示された野鳥の剥製



常設展 骨からわかる動物のこと



年齢順に並べられたイノシシの頭蓋骨

【関連イベント】

なし

(3) 2016(平成28)年度企画展 ～里山と人間社会の関わり～

【展示期間】

2016(平成28)年4月1日から2017年(平成29)年4月30日

【展示内容】

・ 趣旨

里山に生息する野生動物と人間社会との関わりについて、パネル・ジオラマ風に配した剥製・里山のジオラマを通じて来館者に見てもらう。

・ **展示構成**

» 剥製ゾーン

里山から奥山にかけての環境と生息する野生動物の姿を再現した。

» ミニチュア環境ゾーン

人々が暮らす街中から、里山、奥山にかけて、全体を俯瞰的に見ることができるミニジオラマを展示した。ジオラマ内には動物のフィギュアを設置した。

・ **展示風景**



剥製ゾーン



ミニチュア環境ゾーン

【**関連イベント**】

なし

(4) **2017(平成 29)年度企画展 ～ 3つの環境と外来生物～**

【**展示期間**】

2017(平成 29)年 7 月 9 日から現在まで継続中

【**展示内容**】

・ **展示構成**

展示室内を 3つのゾーン(里山の環境・水辺の環境・里地の環境)に分け、それぞれの環境をジオラマで再現した。各ジオラマ内には、環境の説明をまとめたパネルと、その環境に生息する野生動物の剥製を展示した。また各ゾーンには、その環境に生息する在来生物と外来生物を紹介するパネルを設置した。

» 里山の環境ゾーン

燃料として利用する薪や炭、あるいは堆肥として利用する落ち葉を生産するために管理されて形成された森林を里山と呼ぶ。このゾーンでは、里山に生息する在来生物の剥製を展示し、様々な生物が生息・生育する空間として、日本の生態系を育んできた里山の環境を再現した。

## » 水辺の環境ゾーン

生物が生きていくために、水は必要不可欠な要素である。このゾーンでは、川から池にかけての流れを再現したジオラマを設置し、水辺の環境に生息する在来・外来生物の剥製と写真を展示した。

## » 里地の環境ゾーン

里山と都市の中間に位置し、集落や農地、ため池、草原などで構成される環境を里地と呼ぶ。里地では、里山と一体的に農林業などに伴う様々な人間の働きかけが行われ、独特な環境が形成・維持されてきた。このゾーンでは、納屋と畑を再現したジオラマを中心に設置し、ジオラマ内には里地に生息する在来・外来生物の剥製を展示した。納屋には、アライグマの爪痕と足跡を付け、家屋侵入の様子を再現した。畑には、野生動物により食害を受けたスイカ・トウモロコシ・サツマイモを設置し、農作物被害の様子を再現した。なお、ワークショップ開催の都合上、2017(平成 29)年 10 月 5 日から剥製の配置を一部変更した。

## • 展示風景



里山の環境ゾーン



水辺の環境ゾーン



里地の環境ゾーン

## 【関連イベント】

企画展関連ワークショップ「そっくり?ちがう?タヌキ アライグマ ハクビシン」

(ワークショップの詳細は P.12)

## 2. 歴史系展示室

### (1) 第 1 期常設展

#### 【展示期間】

2017(平成 29)年 7 月 9 日から現在まで継続中

#### 【展示内容】

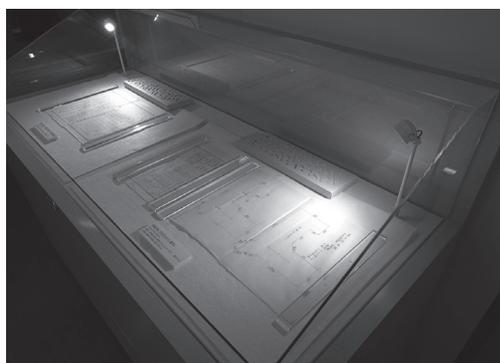
##### ・ 展示構成

展示室入口に大学史をまとめた年表のパネルを設置した。学校の始まりから専門学校として終戦を迎えるまでの大学の歴史を、年表パネルと対応するように 5 つに分け、それぞれの時代の説明パネル・写真パネル・関連資料を展示した。また、本館(1 号棟)建物の歴史を紹介するため、武蔵境での校地の整備と本館についての歴史をまとめたブースを設置した。

##### ・ 展示風景



展示室の風景



本館に関する資料

#### 【関連イベント】

なし

## 3. 廊下ミニ展示

2018(平成 30)年 2 月 23 日から、本館 2 階博物館事務室前の廊下にて、ガラス製展示ケースを用いたミニ展示を開始した。

### (1) ミニ展示 1 附属ワイルドライフ・ミュージアムのご案内～博物館の活動について～

#### 【展示期間】

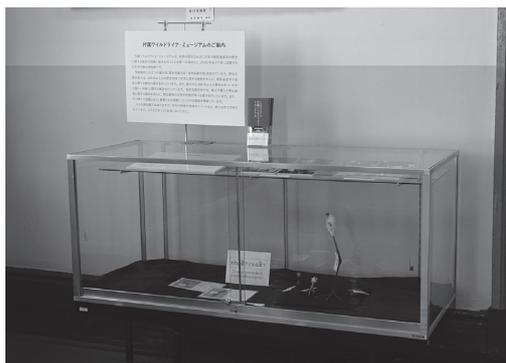
2018(平成 30)年 2 月 23 日から現在まで継続中

#### 【展示内容】

##### ・ 展示構成

博物館の説明をまとめたパネル・活動風景の写真・実際に活動で用いる資料(鳥の足の標本)を設置した。

・ 展示風景



ミニ展示 1 の様子

【関連イベント】

なし

(2) ミニ展示 2 光学機器で時代を読む 1

【展示期間】

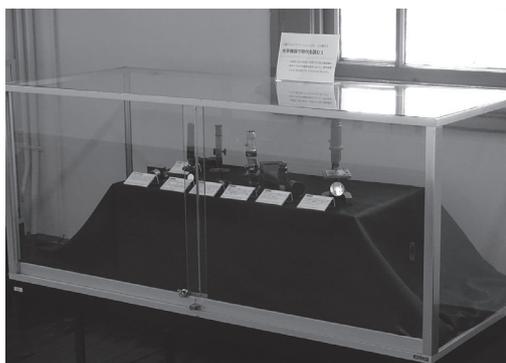
2018(平成 30)年 2 月 23 日から現在まで継続中

【展示内容】

・ 展示構成

生物学領域の歴史上で時代とともに変化し、また重要な役割を果たした小型の光学機器を解説文とともに展示した。

・ 展示風景



ミニ展示 2 の様子



展示した顕微鏡

【関連イベント】

なし

(3) ミニ展示 3 光学機器で時代を読む 2

【展示期間】

2018(平成 30)年 2 月 23 日から現在まで継続中

### 【展示内容】

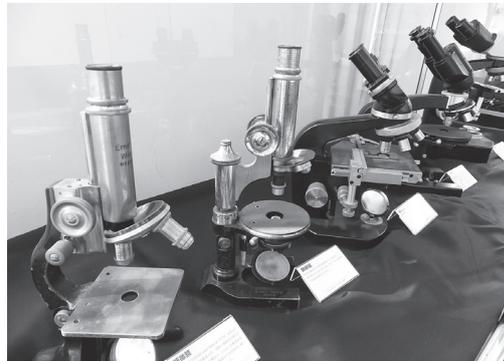
#### ・展示構成

比較的大型で新しい時代の顕微鏡を解説文とともに展示した。

#### ・展示風景



ミニ展示 3 の様子



展示した顕微鏡

### 【関連イベント】

なし

## II. 教育普及活動

### 1. 団体見学の受け入れ

#### (1) NHK 文化センター光が丘教室

【日時】2017(平成 29)年 8 月 25 日 13:30 ~ 15:00

【人数】22 名

#### 【内容】

建物見学の申請に応じ、大学史の概要を紹介した後、建物の外観および内観について解説を行った。  
また、歴史系展示室および自然系展示室の展示解説を行った。

#### (2) あざぶ達人倶楽部

【日時】2017(平成 29)年 10 月 21 日 10:00 ~ 11:30

【人数】11 名

#### 【内容】

2017(平成 29)年 8 月 25 日に行われた団体見学会と同様の解説を行った。

### 2. ワークショップの開催

#### (1) むさしのサイエンスフェスタ 2017

【日時】2017(平成 29)年 11 月 3 日 13:00 ~ 16:00

【場所】武蔵野総合体育館

【人数】約 300 名

【内容】

「むさしのサイエンスフェスタ」は、武蔵野市主催の子ども向け科学イベントである。当日は会場内にブースを設置し、以下のワークショップを行った。

・鳥の羽クイズ

中～大型の鳥の翼標本を作製し、来場者に実際に触れてもらいながら、鳥の翼の不思議について学べるようにした。

・鳥の足クイズ「だれの足?どんな足?」

身近な野鳥 4 種について、足の標本と写真パネルを作製し、参加者が実物を手に取りながら、その特徴を学べるようにした。

・ぬりえ「ホンドタヌキ・アライグマ・ホンドギツネ」

3 種類の野生動物(ホンドタヌキ・アライグマ・ホンドギツネ)について、顔と体の模様を書き込めるぬりえを作成した。参加者には、剥製の写真を掲載したヒントを見ながらぬりえに模様を書き込むよう促した。最後に、正解をまとめた解説用紙を配布した。

・実際の様子



サイエンスフェスタの様子



博物館のブース



鳥の足クイズで用いた標本

## (2) 外来生物展関連ワークショップ「そっくり?ちがう?タヌキ アライグマ ハクビシン」

【日時】1 回目 2017(平成 29)年 10 月 15 日 10:00 ~ 16:00 (みたか太陽系ウォークと同時開催)

2 回目 2017(平成 29)年 11 月 3 日~ 5 日 10:00 ~ 16:00 (第 2 回医獣祭と同時開催)

(イベント詳細は P.15)

【場所】自然系展示室

【人数】1 回目 73 名

2 回目 198 名

### 【内容】

2017(平成 29)年度企画展「3 つの環境と外来生物」(企画展詳細は P.6)に関連するワークショップとして行った。剥製をじっくりと観察することを第 1 の目標とし、参加者には展示室内里山の環境ゾーンに設置した剥製に関するクイズとぬりえに挑戦してもらった。観察の対象はタヌキ・アライグマ・ハクビシンの剥製とした。この 3 種は、一般的に混同されることが多いものの、見た目や種、外来生物としての扱いが異なっている。3 種の見目の違いを知ることを、ワークショップの第 2 の目標とし、クイズとぬりえが完成した参加者に対しては、クイズの答え合わせと 3 種の外見上の特徴の解説を行った。また、3 種の動物としての違いおよび外来生物としての違いを知ることを、ワークショップ第 3 の目標とし、参加者には 3 種についての情報をまとめた解説用紙を配布した。

## Ⅲ．学芸員課程との関わり

### 大学付属博物館と学芸員教育

2005(平成 17)年に本学獣医学部に「獣医保健看護学科」が誕生した。この新設学科に新しい資格を少しでも増やすことが必要と考え、その 1 つとして学芸員課程を新設することを決めたのが本学の学芸員課程誕生のきっかけであった。2006(平成 18)年度のことである。

本学の学芸員課程履修者は、現在 2 つの学科から募集しており、両学科合わせて定員は 20 名、2 年生の後期に募集をかけていたが、現在は 1 年生後期になっている。最初に口頭で学芸員課程の目的や教育内容、カリキュラム、学外実習等の諸点について説明会を開き、履修希望者には基本的な理解をってもらう。その約 2 週間後に履修希望が強い学生には応募動機についての作文を提出してもらい、そこから定員の 1.5 倍程度に絞り込む。作文提出は決められた書式と提出手順に従って学内メールで行われるが、書式や手順を守らせるのは一種の試験の意味合いで、注意力や社会性をみることでもある。従って、この段階での不合格の原因はそこにある場合が多い。最後に応募者全員の前でプレゼンテーションを行い、定員まで絞り込むという選抜方法を取ることが多い。

大学の性格上、野生動物や動物園動物、水族館動物などに強い関心をもち、そうした現場で教育普及に関わりたい学生たちが入学してくる比率は他の分野の大学よりも断然多い。それらの動物園や水族館であれば歴とした「博物館」ではないか。博物館法の改正に伴って国が示した事項に、博物館実習の 2/3 を学内の専用施設で実施するのが望ましいとの文言がある。本学の博物館はそれを契機に学芸員課程設置の後に作られたわけであるが、教育の主旨も学生のニーズに配慮して、動物園・水族館を視野に入れ

たものとした。博物館の名称が「ワイルドライフ・ミュージアム」となっているのはそのためである。

本学の学芸員教育はこのように動物園と水族館での環境教育を目標として展開しており、そこを目指す学生たちが学芸員課程を取ることが多くなっている。今後はまた新しい展開をしながら路線を変更する可能性もあるが、時代とともにそのあたりは柔軟に対応しようと思っている。

## IV . イベント時の開館記録

当館では、学内で開催されるイベントに合わせて展示室の一般開放を行っている。以下に、開館時の様子をまとめる。

### 1. 2015(平成 27)年度

#### (1) サイエンスカフェ

【日時】2015(平成 27)年 4 月 25 日

【来館者数】記録なし

#### (2) オープンキャンパス

【日時】2015(平成 27)年 7 月 12 日

【来館者数】105 名

#### (3) オープンキャンパス

【日時】2015(平成 27)年 8 月 22 日

【来館者数】133 名

#### (4) オープンキャンパス

【日時】2015(平成 27)年 10 月 4 日

【来館者数】50 名

#### (5) 大学祭(第 66 回日獣祭)

##### ・オープンキャンパス

【日時】2015(平成 27)年 11 月 1 日

【来館者数】56 名



2015 年 4 月 25 日 サイエンスカフェ  
(電子テーブルを用いた解説)



2015 年 10 月 4 日 オープンキャンパス  
(パネル展示)

### 2. 2016(平成 28)年度

#### (1) オープンセミナー

【日時】2016(平成 28)年 5 月 29 日

【来館者数】48 名

#### (2) オープンキャンパス

【日時】2016(平成 28)年 8 月 20 日

**【来館者数】** 298 名(個別に来館 81 名 / キャンパスツアーで来館 217 名)

**【展示内容と当日の様子】**

自然系展示室の開放を行った。自然系展示室では、第 1 期常設展と 2016 年度企画展が行われていた。当日は大学主催のキャンパスツアーが行われ、キャンパスツアー参加者および個別の来館者に対し、学芸員と学芸員課程受講生による解説が行われた。

**(3) 大学祭(第 1 回医獣祭)・オープンキャンパス**

**【日時】** 2016(平成 28)年 11 月 4 日～ 6 日

**【来館者数】** 565 名(1 日目 18 名 / 2 日目 166 名 / 3 日目 381 名)

**【展示内容と当日の様子】**

自然系展示室の開放を行った。自然系展示室では第 2 期常設展と 2016 年度企画展が行われていた。来館者に対しては、学芸員と学芸員課程受講生による解説が行われた。

**3. 2017(平成 29)年度**

**(1) オープンキャンパス**

**【日時】** 2017(平成 29)年 7 月 9 日

**【来館者数】** 397 名(個別に来館 256 名 / キャンパスツアーで来館 141 名)

**【展示内容と当日の様子】**

歴史系展示室と自然系展示室の開放を行った。歴史系展示室では第 1 期常設展が行われていた。自然系展示室では第 2 期常設展と 2017 年度企画展が行われていた。なお、第 2 期常設展で設置していたパネルは、企画展の都合上撤去した。当日は大学主催のキャンパスツアーが行われ、キャンパスツアー参加者および個別の来館者に対し、学芸員と学芸員課程受講生による解説が行われた。

**(2) オープンキャンパス**

**【日時】** 2017(平成 29)年 8 月 19 日

**【来館者数】** 837 名(個別に来館 531 名 / キャンパスツアーで来館 306 名)

**【展示内容と当日の様子】**

2017(平成 29)年 7 月 9 日に行われた一般開放と同様の展示を行った。

**(3) 第 23 回日本野生動物医学会大会**

**【日時】** 2017(平成 29)年 9 月 1 日～ 3 日

**【来館者数】** 68 名(1 日目 9 名 / 2 日目 31 名 / 3 日目 28 名)

**【展示内容と当日の様子】**

歴史系展示室と自然系展示室の開放を行った。歴史系展示室では第 1 期常設展が行われていた。自然系展示室では第 2 期常設展と 2017 年度企画展が行われていた。来館者に対し、学芸員による解説が行われた。

**(4) オープンキャンパス**

**【日時】** 2017(平成 29)年 10 月 1 日

**【来館者数】** 139 名

**【展示内容と当日の様子】**

2017(平成 29)年 9 月 1 日から 3 日にかけて行われた一般開放と同様の展示を行った。

**(5) みたか太陽系ウォーク 2017 スタンプラリー**

**【日時】** 2017(平成 29)年 10 月 15 日

**【来館者数】** 263 名

**【展示内容と当日の様子】**

「みたか太陽系ウォーク」は、三鷹ネットワーク大学主催のスタンプラリーイベントである。三鷹市周辺に設けられたスタンプ設置箇所の 1 つとして博物館を開放し、歴史系展示室と自然系展示室を公開した。歴史系展示室では第 1 期常設展が行われていた。自然系展示室では第 2 期常設展と 2017 年度企画展が行われ、企画展関連ワークショップ「そっくり?ちがう?タヌキ アライグマ ハクビシン」が開催された。なお、ワークショップの開催に伴い、展示室内の剥製の配置が一部変更された。来館者およびワークショップ参加者に対し、学芸員と学芸員課程受講生による解説が行われた。

**(6) 大学祭(第 2 回医獣祭)・オープンキャンパス**

**【日時】** 2017(平成 29)年 11 月 3 日～5 日

**【来館者数】** 956 名

**【展示内容と当日の様子】**

2017(平成 29)年 10 月 15 日の一般開放と同様の展示を行った。

**(7) 平成 29 年度遊学講座(館長による講演)**

**【日時】** 2018(平成 30)年 2 月 23 日

**【来館者数】** 11 名(遊学講座受講者 73 名)

**【展示の内容と当日の様子】**

展示内容は 2017(平成 29)年 10 月 15 日の一般開放と同様だが、ワークショップは来館者が個々にできるよう資料の配置を変更した。なお、学芸員による解説は行わなかった。

## V. 資料

### 1. 入館記録

#### (1) 開館情報

2015(平成 27)年 4 月 1 日の開館以降、原則として、大学で行われるイベント(オープンキャンパス・大学祭等)に合わせ開館を行った。その他、個人や団体から申請があった場合は、博物館を開館し学芸員による解説を行った。2017(平成 29)年 11 月 3 日以降は、オープンキャンパス・大学祭・その他特別公開期間を開館期間とし、博物館リーフレットおよび大学サイト内の博物館ページに開館案内を記載した。また開館期間以外の見学可能日(火曜日から金曜日の 10:00 から 16:00 および土曜日の 11:00 から 17:00)の見学を希望する個人や団体に対しては、見学希望日前日までの申請を要求した。

## (2) 来場者数

### 【月別来館者数】

#### ・2015(平成 27)年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一般見学	3	44	113	61	24	1	14	11	22	0	0	0	293
イベント	-	-	-	105	133	-	50	56	-	-	-	-	344
合計	3	44	113	166	157	1	64	67	22	0	0	0	637

※正確な来館者数は 5 月 18 日の来館者記録用紙配備以降から記録

#### ・2016(平成 28)年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一般見学	85	41	1	44	11	10	8	39	42	0	7	3	291
イベント	-	48	-	-	298	-	-	565	-	-	-	-	911
合計	85	89	1	44	309	10	8	604	42	0	7	3	1,202

#### ・2017(平成 29)年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
一般見学	41	-	-	23	37	22	8	41	39	27	9	247
イベント	0	-	-	397	837	68	402	956	0	0	11	2,671
団体見学	0	-	-	0	22	0	11	0	0	0	0	33
合計	41	-	-	420	896	90	421	997	39	27	20	2,951

※ 2018(平成 30)年 2 月 28 日時点の記録

※ 2017(平成 29)年 5 月から 6 月は展示替えのため閉館

### 【イベント時の来場者数】

#### ・2015(平成 27)年度

イベント名	期間	開館日数	入館者数
サイエンスカフェ	4月25日	1日	記録なし
オープンキャンパス	7月12日	1日	105名
オープンキャンパス	8月22日	1日	133名
オープンキャンパス	10月4日	1日	50名
大学祭・オープンキャンパス	11月1日	1日	56名
合計		5日	344名

• 2016(平成 28)年度

イベント名	期間	開館日数	入館者数
オープンセミナー	5月29日	1日	48名
オープンキャンパス	8月20日	1日	298名
大学祭・オープンキャンパス	11月4日～6日	3日	565名
合計		5日	911名

• 2017(平成 29)年度

イベント名	期間	開館日数	入館者数
オープンキャンパス	7月9日	1日	397名
オープンキャンパス	8月19日	1日	837名
野生動物医学会大会	9月1日～3日	3日	68名
オープンキャンパス	10月1日	1日	139名
みたか太陽系ウォーク 2017スタンプラリー	10月15日	1日	263名
大学祭・オープンキャンパス	11月3日～5日	3日	956名
平成 29 年度 遊学講座	2月23日	1日	11名
合計		11日	2,671名

【団体見学】

• 2017(平成 27)年度

団体の受け入れはなかった

• 2016(平成 28)年度

団体の受け入れはなかった

• 2017(平成 29)年度

団体名	来館日	入館者数
NHK 文化センター光が丘教室	8月25日	22名
あざぶ達人倶楽部	10月21日	11名
合計		33名

## 2. 年表：開館までの経緯とその後の活動

### 2007(平成 19)年

4 月

- 学芸員課程開講

### 2009(平成 21)年

3 月

- 学芸員課程 1 期生修了(獣医保健看護学科 15 名)

### 2010(平成 22)年

3 月

- 学芸員課程 2 期生修了(獣医保健看護学科 13 名)

4 月

- 平成 22 年度から動物科学科にも学芸員課程を公開

### 2011(平成 23)年

3 月

- 学芸員課程 3 期生修了(獣医保健看護学科 16 名)

### 2012(平成 24)年

3 月

- 学芸員課程 4 期生修了(獣医保健看護学科 16 名、動物科学科 4 名)

### 2013(平成 25)年

3 月

- 学芸員課程 5 期生修了(獣医保健看護学科 9 名、動物科学科 9 名)

### 2014(平成 26)年度

3 月

- 学芸員課程 6 期生修了(獣医保健看護学科 4 名、動物科学科 4 名)

7 月

- 7 日：第 1 回博物館設立準備委員会を開催
  - » 設置場所・設立の目的・資料の種類等を協議する。作業日程と役割分担を取り決める。

10 月

- 23 日：第 2 回博物館設立準備委員会を開催
  - » 付属博物館設置に伴う大学組織規則改正案について検討した結果、添付された組織規則改正案が了承され、本年 11 月の合同教授会において審議することとなる。

---

**12月**

- 2日：第3回博物館設立準備委員会を開催
  - » 正式名称をワイルドライフ・ミュージアムとする。

**2015(平成27)年****2月**

- 5日：里山の動物展示を初年度の軸とすべく動物剥製を配備する計画を立案

**3月**

- 博物館コンセプトの決定
  - » 日本獣医生命科学大学における博物館設置に係る基本コンセプトとして我が国の獣医畜産学の歴史遺産の保存と展示、野生動物系展示と教育の施設として、学芸員教育の場として、の3つを掲げる。
- 学芸員課程7期生修了(獣医保健看護学科11名、動物科学科7名)
- 1日：法人理事会にてワイルドライフ・ミュージアム設置を承認

**4月**

- 1日：博物館としての活動を開始
- 21日：公開準備開始
  - » 本年7月のオープンキャンパスに合わせて、自然系展示室内にジオラマ用の大型テントを設置。学芸員課程履修者の館内実習を兼ねて、里山の動物たちの教育展示を企画。あわせて里山のミニジオラマも作製開始する。
- 25日：サイエンスカフェの開催に合わせ、自然系展示室を開放

**5月**

- 18日：自然系展示室内に来館者記録用紙を配備

**7月**

- 12日：オープンキャンパスの開催に合わせ、自然系展示室を開放

**8月**

- 22日：オープンキャンパスの開催に合わせ、自然系展示室を開放

**10月**

- 4日：オープンキャンパスの開催に合わせ、自然系展示室を開放

**11月**

- 1日：大学祭(第66回日獣祭)・オープンキャンパスの開催に合わせ、自然系展示室を開放

## 2016(平成 28)年

### 2月

- 25日：ワイルドライフ・ミュージアム将来構想案を提案
  - » 施設の構成と将来展開・防災対策案・展示室の展開案・活動展開案についてまとめる。

### 3月

- 学芸員課程 8 期生修了(獣医保健看護学科 12 名、動物科学科 9 名)

### 4月

- 1日：自然系展示室 2017 年度企画展を開始

### 5月

- 29日：オープンセミナーの開催に合わせ、自然系展示室を開放

### 8月

- 博物館に学芸員を採用
- 20日：オープンキャンパスの開催に合わせ、自然系展示室を開放

### 10月

- 6日～11月12日：本館内資料害虫生息調査
- 27日：自然系展示室第 1 期常設展が終了

### 11月

- 4日：自然系展示室第 2 期常設展を開始
- 4日～6日：大学祭(第 1 回医獣祭)・オープンキャンパスの開催に合わせ、自然系展示室を開放

## 2017(平成 29)年

### 3月

- 学芸員課程 9 期生修了(獣医保健看護学科 10 名、動物科学科 9 名)

### 4月

- 30日：自然系展示室 2016 年度企画展を終了し、展示替えを開始

### 7月

- 博物館案内リーフレットの作成を開始
- 9日：歴史系展示室第 1 期常設展および自然系展示室 2017 年度企画展を開始
- 9日：オープンキャンパスの開催に合わせ、歴史系展示室・自然系展示室を開放

---

**8月**

- 1日～26日：本館内資料害虫生息調査
- 19日：オープンキャンパスの開催に合わせ、歴史系展示室・自然系展示室を開放
- 25日：団体見学の受け入れ(NHK文化センター光が丘教室 22名)

**9月**

- 1日～3日：第23回日本野生動物医学会大会の開催に合わせ、歴史系展示室・自然系展示室を開放

**10月**

- 1日：オープンキャンパスの開催に合わせ、歴史系展示室・自然系展示室を開放
- 5日：自然系展示室でのワークショップ開催に伴い、剥製の配置を一部変更
- 15日：みたか太陽系ウォーク 2017 スタンプラリーにあわせ、歴史系展示室・自然系展示室を開放
- 21日：団体見学の受け入れ(あざぶ達人倶楽部 11名)

**11月**

- 博物館案内リーフレットの配布を開始
- 3日：むさしのサイエンスフェスタ 2017 に出展
- 3日～5日：大学祭(第2回医獣祭)・オープンキャンパスの開催に合わせ、歴史系展示室・自然系展示室を開放

**2018(平成30)年****2月**

- 23日：本館2階博物館事務室前の廊下にて、ガラス製展示ケースを用いたミニ展示を開始
- 23日：平成29年度遊学講座での館長の講演に合わせ、歴史系展示室・自然系展示室を開放

**3月**

- 学芸員課程10期生修了(獣医保健看護学科10名、動物科学科7名)

---

---

日本獣医生命科学大学 附属ワイルドライフ・ミュージアム 年報 第 1 号  
2015(平成 27)年度～ 2017(平成 29)年度

---

発行日 2018 年 3 月 31 日

編集・発行 日本獣医生命科学大学 附属ワイルドライフ・ミュージアム  
〒 180-8602 東京都武蔵野市境南町 1-7-1  
Tel 0422-34-4151

印刷 星野精版印刷株式会社  
〒 116-0011 東京都荒川区西尾久 4-7-6  
Tel 03-3893-4611

---

---

学校法人日本医科大学  
日本獣医生命科学大学  
附属ワイルドライフ・ミュージアム

---

TEL 0422-31-4151(代)

URL : <http://www.nvlu.ac.jp>